

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時 平成 29 年 11 月 23 日 (木) 10:35～12:25  
 場所 島根県立松江ろう学校  
 対象 小学部児童 9 名、保護者 9 名  
 指導者 教員 2 名 + 7 名 (小学部)  
 埋蔵文化財センター職員 2 名

1. 主題 古代人 (弥生人) の生活を知ろう～古代食作り体験～

2. ねらい

○古代の人々の生活の様子に興味・関心を持つ。

○古代食作りの体験を通して、古代人の食生活の様子について知り、古代人の生活への理解を深める。

(主に 6 年生)

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	分担
5 分	今日の学習の流れを確認しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師の紹介をする。</li> <li>学習の内容やねらいを説明する。</li> </ul>	教科担当
15 分	縄文時代や弥生時代の人々の生活について知ろう (教室) <ul style="list-style-type: none"> <li>縄文、弥生時代が今からどれくらい前の時代かを確認する。</li> <li>どのような食べ物を食べていたのかを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者がパワーポイントなどの視覚的教材を使って生徒の興味・関心を高めることができるように配慮する。</li> <li>手話通訳は、ろう学校教員が行う。</li> </ul>	職員
60 分	★古代食作りに挑戦しよう (調理室) <ul style="list-style-type: none"> <li>赤米の炊飯準備</li> <li>屋外にかまどを作り、土器で炊飯</li> </ul> <炊飯の時間を利用して> ★古代人の衣装体験 ★火起こし体験	エプロンを着用して調理室へ移動 <ul style="list-style-type: none"> <li>古代食の炊飯方法について説明する。</li> <li>安全面、衛生面に十分配慮し活動中は適宜助言や支援を行う。</li> <li>★炊飯 (場所：未定)</li> <li>★火起こし体験 (場所：未定)</li> <li>※靴の履き替えや移動時間も考慮</li> </ul>	職員 教科担当
10 分	古代食を試食しよう (調理室)		全員
10 分	感想を発表する。(教室)		職員 教科担当
10 分	片づけをする。		全員

4. 準備物

(学校・児童) パソコン、プロジェクター、長机、調理器具、食器、エプロン、筆記用具  
 (埋蔵文化財センター) 食材、炊飯用土器、遺物、学習の資料、火起こしセット、アンケート用紙等